

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ゆいまーるにゆうがわ		公表日		2025年 2月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	6	利用者様が多い日は、机等の配置を工夫し活動しやすく工夫をしています。	事業所スペースは限られていますが、空間を活用し、お子様が活動しやすい環境作りに努めていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	ミーティングでは、職員の役割分担を明確にしています。	利用人数に応じた職員配置を行っていますが、外出イベント等では職員配置の工夫を行い、安全に過ごしてもらえよう工夫していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	7	その日の利用者さんに合わせた構造化を行い安心して過ごせる環境を作っていく必要があると思います。	事業所のスペースには限りがありますが、ご利用者様に安心して過ごしてもらえよう工夫していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	4	常に清潔な空間を心掛け、子ども達が安心して過ごせるよう掃除の徹底をしています。	気持ちよく過ごしてもらえよう、ご利用前ご利用後の掃除、アルコール消毒等を徹底していきます。活動空間には限りがありますが、机やつい立て等を活用し活動しやすい環境作りを行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	6	ダンボールハウスを設置して、その中に入る事で落ち着けるスペースを確保していますが、十分とは言えません。	必要に応じて個別で対応できるようにしていますが、十分とは言えないので今後は活動スペースの構造化を行い、利用者様の空間確保を行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	出来る限り参加できるよう勤務体制の工夫や会議を開催しています。	今後も業務改善が必要な部分は速やかに対応し、職員が安心して働ける職場作りに努めていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者様の事業所評価の結果について、話し合いの場がありました。	保護者様のご意見を真摯に受け止め、安心してお子様を預けられる施設になれるよう全職員一丸となって努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	ミーティングの時間を長くとり、話し合う時間がありました。	今後も日々のミーティングの時間を大切に、情報共有に努めます。時間が足りないときは、話し合いの時間を確保していき情報周知に努めていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	第三者による外部評価は実施されていません。	第三者による外部評価の機会がないですが、業務改善等がある場合は、迅速に対応していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	施設内研修や外部研修に参加しています。	今後も外部研修・施設内研修を通して、職員の資質向上を目指していきます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	事業所内の支援プログラムは職員が意識して行っていますが、会社の支援プログラムについては現在作成中と聞いています。	支援プログラムについては現在作成中ですが、公表後は、プログラムに沿った支援を前職委が意識し実施できるよう努めていきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	支援会議や日々の情報交換の場で話し合いができています。	利用者様や保護者様のニーズや課題に対して適切な分析のもと、サービス計画を作成できるよう児童発達管理責任者の資質向上に努めていきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員全員が携われるよう工夫しています。	児童発達管理責任者だけでなく全職員が利用者様のサービス計画作成時に携われるよう努めていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	支援会議を開催し、職員同士の情報共有の場を作っています。	今後も支援会議や日々のミーティングで計画に沿った支援が実施されているか確認していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	共通のアセスメントシートを利用している。状況等の変化に合わせてアセスメントを実施しています。	今後も利用者様に合わせた支援を行っていくよう、アセスメントを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	ガイドラインに沿って、児童発達管理責任者が作成してくれています。	放課後等デイサービスのガイドラインに沿って、サービス計画の作成を行っています。全職員が「放課後等デイサービスの提供すべき支援」についての把握ができていないので、今後は研修機会を作りガイドラインに沿った支援ができるよう努めていきます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	イベント表の作成は、職員の意見を聞きながら作成しています。	ご利用者様が楽しく活動できるよう今後もプログラムの工夫を行います。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	日々のイベント担当者が固定化しないよう工夫されています。	ご利用者様が日々楽しく活動できるよう今後も工夫していきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	児童発達管理責任者が全体を把握し作成してくれています。	今後もサービス計画の目標や支援内容が利用者様に合っているか支援会議を開催していきます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援前のミーティングで役割分担や活動の流れを確認しています。	今後も、日々のミーティングの時間を大切に、情報共有に努め、職員の意識統一を行います。時間が足りないときは、話し合いの時間を確保していき情報周知に努めていきます。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援後のミーティングで振り返りを行っています。	今後も、日々のミーティングの時間を大切に、情報共有に努め、職員の意識統一を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	支援の検証・改善がきちんと行っているかミーティングや支援会議で話し合いを行っている。	誰が見ても分かりやすい記録の取り方を目指していきます。また、日々の支援の検証を行いながらご利用者にあった支援を提供できるよう努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	職員全員に会議に出てもらい、意見を出し合っています。	保護者様・相談員さんとの情報交換を行いながら、利用者様のニーズに合ったサービス計画の見直しを児童発達管理責任者を主とし、全職員で取り組んでいます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	遊びやイベント活動を通じて、支援しています。	遊びやイベント活動を通じて、利用者様が楽しみながら「4つの基本活動」を経験していけるようなイベントを開催して行きます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	余暇やイベントを通じて、自分で考えて遊び、決定する機会を作っています。	絵カードの提示や声掛けによる選択肢への誘導や提案を行いながら、今後も自己選択・自己決定の力が育てていけるよう努めていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達管理責任者が参加しています。	児童発達管理責任者または利用者様との関わりが多い職員が参加し、情報共有を行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	担当者会議に学校や障害福祉関係者の方と情報交換を行っています。	今後も利用者様に関わる関係機関との連携を密にし支援体制が整えていけるよう相談員さんと連携を行いながら実施していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校の行事予定表をいただいています。	学校お迎え時に、担任の先生から情報提供を頂いています。今後も学校との連携に努めていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	保育園さんと交流イベントを行い、卒園児である利用者様と、現在、園に通っている園児さんとの交流の場を持つ事が出来ました。	今後も定期的に交流や情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7	対象利用者様がいません。	現在、対象となる利用者様はませんが、事業所移行時は、情報提供やお手伝いをさせていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1	全員研修を受ける事ができていませんが、参加しています。	今後も外部研修・施設内研修を通して、職員の資質向上を目指していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	保育園との交流イベントを実施しました。	今後も、保育園に限らず地域の人たちの交流イベントの機会を設けたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	自立支援協議会に参加出来ていません。	地域の課題、自立支援協議会の取り組みについて、情報収集し、協議会の参加が可能であれば参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時を利用して、利用者様の様子をお伝えしています。	今後も利用者様の詳細な情報を保護者様にお伝えしていけるよう努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	必要性を職員間で話し合っていますが、開催までには至っていません。	個別でご相談があった保護者様にはお伝えはしていますが、今後は事業所のイベントで家族が参加できる研修を行っているよう計画していきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	契約時に説明を行っています。	支援プログラムについては、現在作成中ですが、契約時に運営の方針や利用者負担等の説明を行っています。今後も丁寧分かりやすい説明を行います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	担当者会議への参加・保護者様・相談員さんから情報を提供してもらい作成しています。	今後も、保護者様・相談員さんと連携を密にし、利用者様、ご家族の意向を確認していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	保護者様への説明・同意をもらえるよう児童発達管理責任者がサービス計画を作成しています。	保護者様に支援の方向性や、お子様の様子を定期的に伝えていけるよう工夫していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	保護者様からのご相談がある際は、事業所に来所して頂いたり、送迎時にお話しする機会を作っています。	保護者様からのご相談に対して適切な対応・助言ができるよう職員の資質向上に努めていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	6	保護者会の必要性は感じていますが、実施までには至っていません。	今後は、保護者様同士の交流の場が作れるよう工夫していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	保護者様からの苦情は、その日のうちに対応し、全職員に周知しています。	苦情や体制整備に迅速に対応できるよう今後も努めていくと共に、保護者様への適切な情報伝達に努めていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	利用者様の活動の様子をSNS等で発信しています。	今後もSNS等を活用し、活動の様子や施設の様子を発信していけるよう努めていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	支援後の実施計画は必ずシュレッターをして帰宅しています。	今後も個人情報の取り扱いを徹底していきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	ミーティングや支援会議等で情報交換を行っています。	今後も一人ひとりに合った情報伝達に努めてまいります。また、保護者様にどのような手段で伝えているのかもお知らせしていけるよう努めていきます。

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	当施設の利用者様が保育園に遊びに行ったり、園児さん達に遊びに来ていただいたりといった交流イベントを行っています。	今後も、様々な形で地域交流の機会を設け、地域に開かれた事業所を目指していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	職員や保護者様への周知が不十分なので、発信方法を考える必要があると思います。	保護者様への周知が十分ではないので、今後はSNS等を活用し発信できるよう工夫していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的な研修・訓練を行っています。	今後も、業務継続計画（BCP）を活用した研修・訓練を実施し、職員の意識を高めていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	支援会議や日々のミーティングで確認しています。	服薬やてんかん発作については契約時に確認していますが、予防接種については確認が十分ではないので、今後は保護者様との情報交換に努めています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	現在、食物アレルギーの利用者様がいません。	現在、該当ご利用者様がいませんが、医師の指示書に基づきながら対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	定期的な研修や訓練の実施・全職員が研修や訓練に参加できるようにしています。	安全管理に必要な研修や訓練を行っていますが、充分とは言えないので、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行えるよう努めていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	職員や保護者様への周知が不十分なので、全職員・保護者様への周知の方法を考える必要性があります。	保護者様への周知が十分ではないので、今後はSNS等を活用し発信できるよう工夫していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットを作成しファイルで保管しています。	ヒヤリハットを活用し、職員の質の向上・よりよい施設を目指していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	1	職員への施設内研修・外部研修参加をしていますが、全員が参加できていないので、今後は職員全員の研修機会を確保してほしいです。	出来るだけ全職員が外部研修・施設内研修に参加し虐待防止の意識を高めていけるよう工夫していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者様への十分な説明とサービス計画への記載が必要であることを聞いています。	やむを得ず身体拘束をしなければならない時は、保護者様と十分話し合いを行い、サービス計画書への記載・委員会を行っています。